

## 事例 1

# 最低制限価格の算出例（土木工事）

### 【計算例】

次の発注案件に対し、表-1のような開札があったとする。

発注案件・設計金額（税抜） **8,103,000 円**

設計金額の内訳	直接工事費	4,584,300
	共通仮設費	897,000
	現場管理費	1,626,000
	一般管理費等	995,700

注：設計金額の内訳については、開札時は非公表。

開札状況（表-1）

入札参加者	入札金額	くじ番号	入札書受信日時	ミリ秒単位	区分
A者	8,100,000	265	R4.10.10 10時00分05秒	123	電子
B者	6,850,000	251	R4.10.10 12時02分15秒	400	電子
C者	6,800,000	200	R4.10.10 10時45分25秒	254	電子
D者	6,780,000	150	R4.10.10 09時13分05秒	361	電子
E者	6,750,000	220	R4.10.10 11時00分05秒	123	電子
F者	8,000,000	000	R4.10.10 12時10分52秒	524	紙

注：紙入札で参加の場合、入力くじ番号は000となり、入札書受信日時は、入札機関が入力した時刻になる。

## 1. 最低制限基本価格（税抜）の算定

最低制限基本価格

$$= \text{直接工事費} \times 0.97 + \text{共通仮設費} \times 0.90 + \text{現場管理費} \times 0.90 + \text{一般管理費等} \times 0.68$$

$$= 4,584,300 \times 0.97 + 897,000 \times 0.90 + 1,626,000 \times 0.90 + 995,700 \times 0.68$$

$$= 7,394,547$$

$$= \mathbf{7,394,000}$$

千円未満切り捨て、千円単位で丸める。

最低制限基本価格は、7,394,000円になる。

